

## 競技注意事項

### 1. 競技規則

本大会は、2023年（公財）日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会の申し合わせ事項によって行う。

### 2. ウォーミングアップ

(1) ウォーミングアップは補助競技場及び競技場内バックストレートを原則とする。

※ 明石公園内等、補助競技場や競技場内以外の場所でのウォーミングアップは、一般の方の通行に妨げになるため行わない。

※ バックストレートでのウォーミングアップは、競技の妨げにならないよう注意しながら行う。

※ 補助競技場への出入りは全て北門から行う。

(2) ハードル練習は、11:40～12:20の間にホームストレートに設置しているものを使用すること。各校のハードルの持ち込みは不可とする。

(3) 投てき練習は、メディシンボールのみ使用可とし、補助競技場の指定された場所で行うこと。ただし、練習できるのは投てき種目に出場する選手に限る。

### 3. 競技者の招集

(1) 招集場所・招集時刻

	招集開始時刻	招集終了時刻	招集場所
トラック競技	競技開始20分前	競技開始10分前	各種目のスタート地点
フィールド競技	競技開始30分前	競技開始20分前	各種目が行われる現地

(2) 招集

①招集開始時刻から招集終了時刻までの間に競技服装になっておく。

②アスリートビブス（ナンバーカード）、アスリートビブス（腰）、スパイク・シューズの点検を受ける。

③スパイクピンの長さは、9mm以下（走り高跳びは12mm以下）を使用する。

④招集を受けなかった者は失格となる。（代理人は不可）

⑤2種目に申込をし、その種目の出場や次の種目の点呼に出席できない場合は、事前に顧問が本部に「多種目同時届」を提出する。

⑥アスリートビブス（胸・背・腰）は招集までに所定の位置へつけておく。

※ 跳躍種目は、胸または背のどちらか片方だけでも良い。

※ アスリートビブス（腰）は、個人または各校のものを使用する。（ただし、小学生、一般種目および800m以上の種目に出場する者については、主催者が用意した物を使用する）

⑦小学生、一般種目および800m以上の種目に出場する選手は、アスリートビブス（腰）配付場所に、組とレーンがわかるものを用意しておくので、指定されたものを受け取り、競技終了後は競技役員へ返却する。

⑧全種目において、WA規則第143条（TR5）を適用する。規定外シューズの使用は認めず、失格とする。

※ 小学生はこの限りではない。

※ WA承認シューズリストは随時更新されているため、適宜確認をしておく。

### 4. 競技運営

(1) 天候や資器材等の理由により、競技日程の進行が早まったり遅れたりする可能性があるため、時間に余裕をもって行動したり、アナウンスを良く聞いておく。

(2) レーンで行う競技種目で棄権があった場合は、そのレーンは空ける。

(3) スタートは全てイングリッシュコールで行い、不正スタートで失格とする。なお、小学生においては2回目の不正スタートで失格となる。

(4) 計時方法は、写真判定（1/100秒）とする。

(5) 短距離では事故防止のためフィニッシュライン到着後も、割り当てられたレーン（曲走路）を走ることに注意する。

(6) フィールド種目における競技前の公式練習等は役員の指示で行う。

(7) 競技者に対する助力は認めない。

(8) ビデオ撮影等での抗議は認めない。

(9) 走高跳のバーの上げ方は以下のとおり。

	練習	試技									
男子	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	…	1m70以降3cmずつ	
女子	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	…	1m50以上3cmずつ	

※ バーの高さについては、当日に変更する場合がある。

※ 記録会形式で行うため、ジャンプオフは行わない。

### 5. 用器具

(1) 競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。

### 6. 競技場の使用

(1) 選手、競技役員、大会関係者、引率責任者（保護者）以外は競技場内に立ち入ることはできない。

(2) 基本的な感染症対策は、各自で行う。

(3) 競技の進行上、本部前は通行禁止とする。

(4) 不審者や不審な行為を見つけた場合は、速やかに近くの競技役員へ連絡する。

(5) 競技場内施設の備品を持ち帰ることがないようにする。

(6) 競技場内での選手の携帯電話、スマートフォン、パッド等の使用や撮影は禁止とする。

(7) 競技会の運営ルールや競技進行上のマナーに反する者や、注意に対して従えない者については競技場から退場してもらいがある場合がある。

(8) 競技場内スタンド天井部分が工事で使用不可の場所があるため、立ち入らないようにする。

(9) 貴重品等の管理については、各自責任をもって行う。

(10) 更衣室および更衣室内ロッカーは使用不可とする。ただし、トイレを利用する際の通過は可とする。

(11) 救護本部は競技場内の医務室に設置する。医務室を利用する場合は原則、引率責任者・同伴者または顧問と共に入室する。

### 7. 待機場所

(1) 選手はスタンド、引率責任者・同伴者は芝生スタンドにて待機する。

(2) スタンド下の雨天練習場（オールウェザー走路部分）は、待機場所を指定しないが、各校で譲り合って利用する。

### 8. 記録

(1) 記録については、貼り出しによる掲示を行わない。（アスリートランキングにて確認）

### 9. リレー種目

(1) オーダー用紙は受付時に顧問が受け取り、リレー種目の第1組招集完了時刻の1時間前までに記録部へ提出する。

### 10. その他

(1) 競技場の周辺施設（球場等）での場所取りや待機は、一般の方や利用者の迷惑となるため禁止とする。

(2) 発熱や体調がすぐれない中での大会出場は慎重に判断する。

(3) 主催者は、競技中に発生した障害・疾病について応急処置を行う。

(4) 競技会当日、午前6:00に神戸市または明石市に気象警報（波浪警報以外）が発令された場合は、大会を中止とする。

(5) WBGT（暑さ指数）が31以上になった場合は、競技を一時中断し、大会本部でその後について協議する。

※ 大会が中止になった場合でも申込料は発生する。

(6) 競技場内にはごみ箱がないため、出したごみは各自で持ち帰る。

11. 補助競技場までの動線・注意事項

【補助競技場での投てき練習】

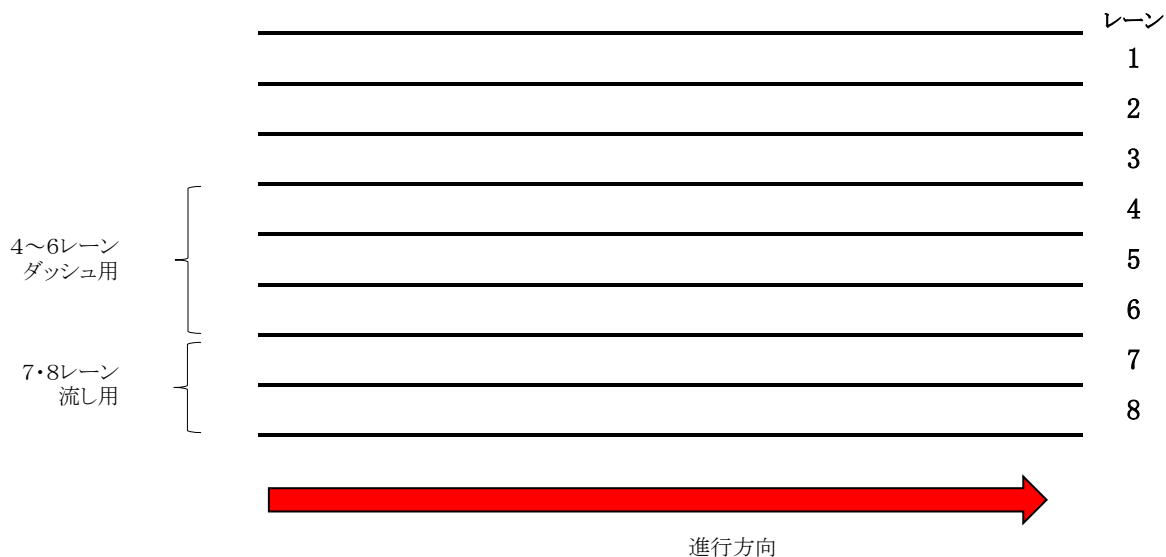
- コーンで区切られたスペースを使い、練習を行うこと。
- 投てき練習時は、メディシンボールのみ使用可とする。



【注意事項】

- 補助競技場は、全面土のため、スパイクの使用は不可とする。
- 補助競技場では、ジョグ、体操、ストレッチ、動きづくり・ドリルまでを行うこととする。  
※ミニハードル等の器具の持ち込み不可。
- 流し、ダッシュ、バトン練習はすべて競技場内のバックストレートで行う。
- 補助競技場の利用可能時間は、午前7:30-午後4:00までとする。

12. バックストレート使用方法



- 13:50~15:30の間は1500mが、15:45からは400mが行われます。バトン練習等を行っている途中であっても、これらの競技中は、すみやかにレーンから出て競技の進行をさまたげないようにしてください。
- 事故やケガのないよう、アナウンス等の指示をよく聞くようにしてください。